

震災復興支援「緑の募金」趣意書

平成19年7月に発生した中越沖地震と平成16年の中越大震災の二度にわたる地震によって、上中越地域の森林、緑地は、大きな被害をこうむりました。

この二度にわたる震災からの一日も早い復興を祈念し、秋の「緑の募金」運動は、被災した地域に豊かな緑と潤いを再び取り戻すための支援を目的とした震災復興支援「緑の募金」運動として進めてきました。この運動も今年で3年目となり、皆様から寄せられた募金をもとにした「震災復興緑の支援事業」により、被災地の緑の復興活動や仮設住宅周辺の緑花活動などが行われ、多くの緑と潤いが取り戻されつつあります。

「緑の募金」運動は、戦後の荒廃した国土に緑を取り戻す国土緑化運動として、昭和25年に発足以来、多くの県民に支えられ、森林整備、学校・公共施設の緑化、次代を担う緑の少年団の育成など、県内の緑化推進の原動力として大きな役割を果たしてきました。

多くの県民の協力の下に、被災した地域に豊かな緑と潤いを再び取り戻し、地域住民やボランティアによる緑化活動を支えていくために皆様の力が必要です。

被災地の緑を蘇らせるのはあなたです。今年も本県の秋の「緑の募金」運動を震災復興支援「緑の募金」運動として実施いたします。

目標額は1000万円とし、皆様からの浄財をもとにこれからも被災地の緑の復興支援を進めます。

皆様におかれましては、この震災復興支援「緑の募金」の趣旨をお汲み取り頂き、この運動への御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年9月



社団法人 にいがた緑の百年物語緑化推進員会
理事長 伊藤 文吉